

スーパーヘッド用 124cc クランクキット 取扱説明書

商品番号	適合車種	フレーム番号
01-10-2032	6Vモンキー/ゴリラ	Z50J-1600008 ~
01-10-2042	12Vモンキー/ゴリラ	Z50J-2000001 ~ / AB27-1000001 ~

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。このキットの取り付けにはエンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要になります。各車種専用のホンダ純正サービスマニュアルを準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。このキットを取り付けるには、クランクケースの加工が必要となります。別紙の「クランクケースのボーリング加工」をよくお読み下さい。クランクケースのボーリング加工をすると、クランクケース本体の耐久性は低下します。それにより、クランクケースが損傷する場合があります。あらかじめご了承下さい。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。点火系は、別紙「使用パーツ一覧」に記載されている事項を厳守下さいませようお願い致します。また、このキットはポイント点火では絶対に使用しないで下さい。

他社製品の点火系は絶対に使用しないで下さい。スパークプラグは焼け具合により熱価を設定して下さい。尚、抵抗入りスパークプラグを必ずご使用下さい。クラッチはスペシャルクラッチ、乾式クラッチをご使用下さい。ノーマルクラッチや強化クラッチでは容量が不足し、滑りが生じます。オイルポンプは必ず強化型の物に交換して下さい。必要に応じてオイルクーラーを装着して下さい。エンジンオイルはAPI SF級以上で、SAE 10W-40 / 15W-50程度の物をご使用下さい。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。使用限界回転数は10500rpmとなります。エンジン回転計を取り付け、必ず限界回転数以下でご使用下さい。スプロケットは出力に応じた物に変更して下さい。このキットは単独で使用出来ません。必ずエンジンに見合ったキャブレター、マフラーを装着して下さい。別紙の「使用パーツ一覧」を参照して下さい。

急発進・急加速

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

注意 下記内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

警告 下記内容を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させるときは、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で行ってください。

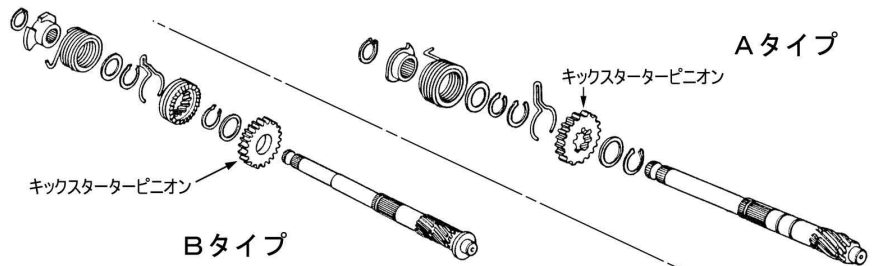
使用パーツ一覧

オイルポンプ	スーパーオイルポンプ	6V: 01-16-004			
		12V: 01-16-005			
クラッチ	スペシャルクラッチ				
	乾式クラッチ				
点火系	6V	アウトローター式C.D.I: 05-02-082 05-02-081は不可			
		レース専用インナーローター式C.D.I: 05-02-05			
	12V	ノーマルジェネレーター/ノーマルC.D.I			
		ノーマルジェネレーター/ハイパーC.D.I			
		レース専用インナーローター式C.D.I: 05-02-05			
レース専用インナーローター式C.D.Iベースプレートについて					
エキゾーストマフラー	Street Basic (ノーマルキックスターターアームが干渉。バックステップは09-10-245のみ可。もしくはブレーキロッドが干渉する恐れがあります。)				
	BOMBER (ノーマルキックスターターアームが干渉する恐れがあります。)				
	Hyper BOMBER (ノーマルキックスターターアームが干渉。)				
	Hyper Street Down				
キャブレター	三国 VM26: 03-05-044、03-05-045				
	KEIHIN PE28: 03-05-094				
フロントフォークと タイヤサイズ	ノーマルフォーク	27フォーク(当社製)	30フォーク(当社製)	倒立フォーク(当社製)	
	タイヤサイズ	8インチ	x	-	-
		10インチ	-	1	2
1. NEW 27フォークは10インチタイヤ装着可能。 旧 27フォークは偏平タイヤを装着すれば可能。 2. スーパーヘッドマウントタイプのオイルクーラー使用時は偏平タイヤを装着すれば可能。 3. 偏平タイヤを装着すれば可能。					
その他注意事項	フレームマウントタイプのオイルクーラーは装着不可。 5速トランスミッション使用時には下記参照。				

5速トランスミッション使用時について

5速ミッションキットを取り付ける場合キックスタータースピンドルがAタイプの場合は必ずBタイプに交換して下さい。キックスタート時にトルクの伝達効率が向上しギヤにかかる負荷を軽減できるため、ギヤ破損防止にもつながります。

Bタイプキックスタータースピンドル交換の場合はキックスターターピニオンも同時に交換が必要です。ミッションキットに合った歯数の物に交換して下さい。Aタイプのキックスターターピニオンは使用出来ませんので注意して下さい。



品名	品番
Bタイプキックスタータースピンドルキット	02-04-001
Bタイプキックスターターピニオン 23T	K-23B
Bタイプキックスターターピニオン 25T	K-25B

このキットのシリンダーはロングタイプになっている為にエキゾーストマフラー、キャブレター、オイルクーラー等が干渉し、取り付け出来ない場合があります。また、フロントタイヤがシリンダーヘッド等に干渉する場合があります。ご注意下さい。

他社製品との組み合わせはトラブルの原因にもなりますので絶対に行わないで下さい。

使用限界回転数は10500rpmとなります。エンジン回転計を取り付け、必ず限界回転数以下でご使用下さい。

特に、空ぶかし時や1速ギア、2速ギアでの急加速時は使用限界回転数に入りやすいのでご注意下さい。使用限界回転数以上でご使用されますと、エンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

～取 り 付 け 要 領～

キット内容を確認して下さい。

取り外し時の注意

エンジン脱着作業を行う際はレーシングスタンド等で車体を確実に安定させて下さい。

作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。

エンジンオイルを抜き取り、マフラー、キャブレター、チェンジペダル、L クランクケースカバー、ドライブスプロケット、キックアーム、ステップバーを取り外して下さい。

ブリーザーチューブや、サイドスタンドスイッチ、ACジェネレータのカブラ、コネクタの接続を外します。

エンジンの取り外しはエンジン下部にジャッキ等の適当な台を置き、エンジンを車体から取り外します。

フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。

シリンダーヘッド、シリンダー、シリンダースタッドボルトを取り外します。

クランクケースの分割

クラッチ周りの部品、フライホイール周りの部品を取り外します。

ステーターベースを取り外し、カムチェーンを取り外します。

クランクケースボルトを取り外し、クランクケースを分割します。

6V車両の場合は、カムチェーンガイドスピンドルを取り外します。

クランクケースは加工が必要となります。詳しくは別紙の「クランクケースのボーリング加工」をお読み下さい。

シリンダースタッドボルト、クランクシャフト、カムチェーンの組み付け

キットのシリンダースタッドボルトを取り付けます。L クランクケースに202mm、R クランクケースに194.5mmのシリンダースタッドボルトを取り付けて下さい。

クランクケースボーリングに伴いケースの強度は低下します。スタッドボルトを規定トルクで締め付けてもクラックが発生する場合がありますので注意し、締め付けて下さい。

尚、スタッドボルト取り付け時にネジロック剤を塗布することをお勧めします。

ロックタイト241相当品

6V車両の場合は、キットのカムチェーンガイドスピンドルを取り付けます。

キットのクランクシャフトを組み込みます。

キットのガスケットをクランクケースに合わせ、クランクケースボルトを対角に数回に分けて締め付けます。

締め付け後、クランクシャフトやトランスミッションなどのシャフト類がスムーズに回ることを確認して下さい。

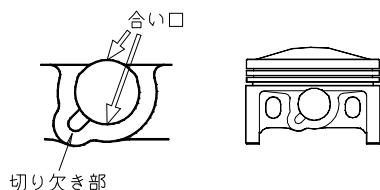
キットのカムチェーンを取り付けます。

クラッチやステーターベース、フライホイール周りの部品を取り付けます。

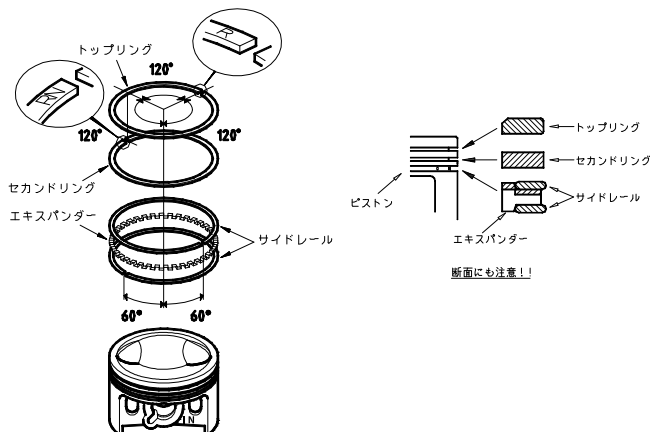
ピストンの組み付け

クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールにきれいなウエスを詰込みます。

ピストンのピン穴の片方にピストンピンサークリップを取り付けます。ピストンピンサークリップの合い口はピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合して下さい。



ピストンのリング溝にエンジンオイルを塗布し、図を参考にしてピストンリングを取り付け、合い口を合せます。



ピストンピン穴、コンロッドのピン穴、ピストンピンにエンジンオイルを塗布し、ピストンをコンロッドに取り付けます。

このとき、ピストンの“IN”文字が、インテーク側に向くように、ピストンを取り付けて下さい。

ピストンのピン穴のもう片方にピストンピンサークリップを取り付けます。

詰めていたウエスを外します。

シリンダーの組み付け

クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂します。

ロックピンB（長さ12mm）を2個、シリンダーガスケット、ラバーパッキン（ブラック）1個を取り付けます。

キットのシリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、ピストンリングの合い口がずれないようにシリンダーをはめ込んでいきます。

カムチェーンをシリンダーに通してシリンダーをクランクケースにはめ込みます。

ガイドローラーとシリンダーサイドボルトを仮止めします。

スーパーヘッドの取り付け、調整

シリンダーとスーパーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂します。

シリンダーにロックピンA（長さ14mm）を2個、ヘッドガスケット、ラバーガスケット（グリーン）、ラバーパッキン（ブラック）を取り付け、スーパーヘッドを取り付け、仮止め部分を本締めします。

バルブクリアランスや、バルブタイミングの調整を行い、L シリンダーヘッドサイドカバーとインスペクションキャップを取り付けます。

エンジン取り付け

エンジンの取り付けはエンジン下部にジャッキ等の適当な台を置き、エンジンを車体に取り付けます。

取り外した部品を取り付け、配線等を接続します。

組み付け後の注意

各部を点検し、ボルトやナット等の緩みがないかを確認します。

エンジンオイルを規定量まで注入して下さい。

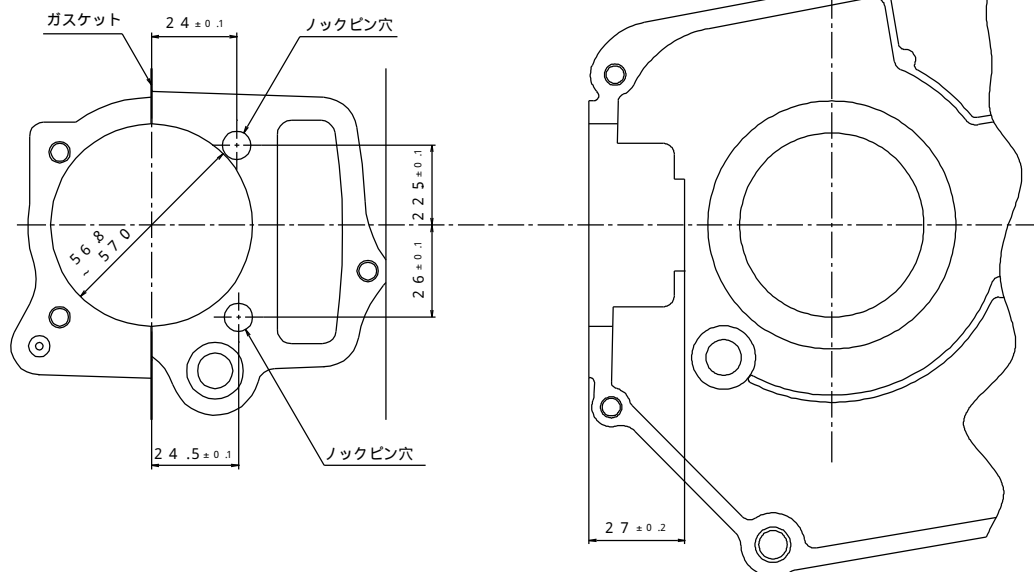
スパークプラグを取り外し、メインスイッチOFF、フューエルコックOFFの状態ですばらくキックをしてエンジン内部にオイルが充分いきわたらせた後で、始動して下さい。

始動後いきなり高い回転まで回さず、低い回転を維持するようにして下さい。

規定トルクで締め付けているボルトやナットでも、温間時、冷間時を繰り返すと少しずつ緩む場合があります。定期的にボルトやナット類の増し締めを行って下さい。

～ クランクケースボーリング加工 ～

加工寸法は、クランクケースガasketをはさんだ状態の仕上がりで 56.8 ~ 57.0 mm、深さ27mmになるように、当商品を合わせながら少しずつ削って下さい。加工するとロックピン穴との肉厚は薄くなり耐久性は低下します。それによりクランクケースが損傷する場合があります。



～ 当社へクランクケースの加工をご依頼される方へ～

住所、氏名、電話番号、車種、フレームナンバーを必ず明記の上、ご同封下さい。

送料はお客様負担です。

当社取扱車種に限らせて頂きます。

当社へご依頼される前に必ず下記作業を行って下さい。指示通りに作業が行われていない場合、未加工の上お客様負担で返品させていただく事があります。

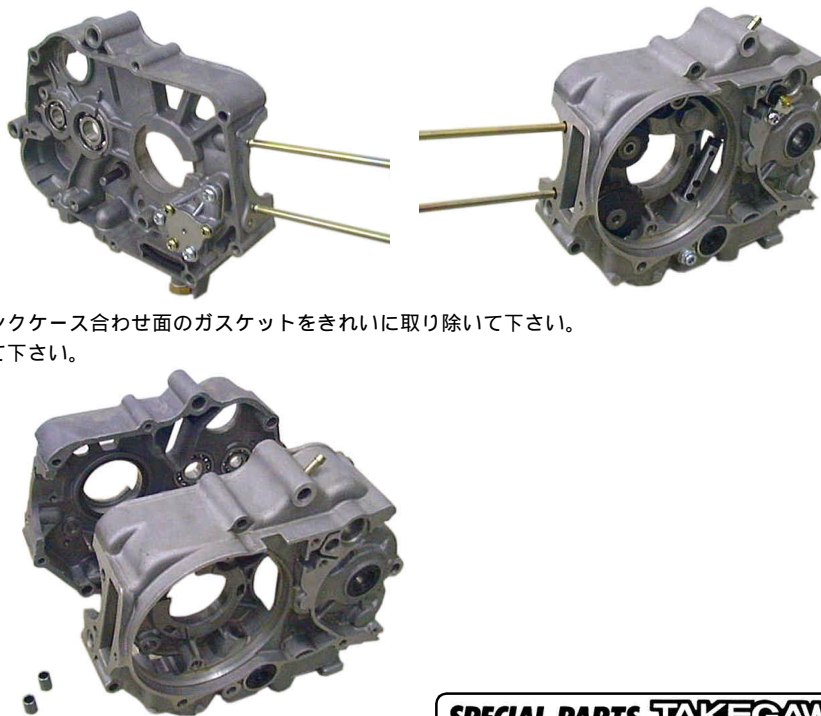
尚、クランクケース加工時にケースに巣等が発見された場合、当社はその責任を負いません。

ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、クランクケースを分割して下さい。

R .クランクケースに付いているスタッドボルト、ドレンボルト、オイルポンプ、オイルフィルタースクリーン、シフトリフタースプリングピンを取り外します。L .クランクケースに付いているスタッドボルト、ニュートラルスイッチコンタクト、カムチェーンガイドスプロケット、カムチェーンテンショナーブッシュロッド、カムチェーンテンショナーアームを取り外します。

スクレーパー等を用いてクラッチカバーおよびクランクケース合わせ面のガasketをきれいに取り除いて下さい。クランクケースの汚れや、油分をきれいに取り除いて下さい。

使用されていた10mmのクランクケースロックピン2個を同封の上、輸送中の破損等の防止のためクランクケースの周りをクッション性の良い物で覆ってから梱包して下さい。



ご注意

クランクケースを加工されますとケースの肉厚が薄くなり、強度が落ちますのでスタッドボルトの締め付けには、充分ご注意下さい。ご使用中におかれましても損傷する場合がございますがご了承下さい。如何なる場合におきましても当社は一切の責任は負いません。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>